事例No.	281
公表年度	H28
団体の属性	指定都市
団体名	福岡県福岡市

事例区分	公営企業

タグ	・交通事業 ・（行政改革）業務の効率化 ・新たな政策手法の確立・活用

事例種類	民間活用

事例内容・タイトル

「駅業務の民間委託化」

出典

地方公営企業の抜本的な改革等に係る先進・優良事例集

○ 事例名等

事例名	駅業務の民間委託化
団体名	福岡市（交通局）
事業名（事業区分）	交通事業（地下鉄事業）

○団体及び事業の概要

行政区域内人口（人）	1,500,955	行政区域内面積（㎢）	343.40
事業開始年月日	昭和56年7月26日	営業路線（km）	29.8
年間走行距離（km）	18,696,000（車両走行距離）	年間輸送人員（人）	156,081,035
在籍車両数（両・台）	212	職員数（人）	587

※表中の計数はH28年３月末時点

1．取組の背景、検討を開始した契機・導入過程

(1)取組の背景

福岡市交通局においては、新路線である七隈線の開業が平成17年度に予定されていたが、沿線の開発事業の遅れや、社会経済情勢が大きく変化したこと等を踏まえた需要推計の見直しにより、免許時取得に比べて収支が厳しくなることが想定されており、さらに効率的な企業運営を図る観点から、駅務の委託化等について関係機関との協議を経て実施することとした。

(2)検討を開始した契機・導入過程

●箱崎線及び七隈線の委託化

平成11年に九州運輸局と協議のうえ、委託化の方針を決定し、平成13年に市会議員で構成される特別委員会において報告を行った。

その後、局内にマニュアル等検討委員会（平成15年度から駅業務検討委員会へ移行）を設置し、民間の専門的ノウハウを取り入れるため、提案競技を実施したうえで、民間委託による業務マニュアル策定を行った。

また、九州運輸局との協議の結果、管理的業務は正規職員において対応することを決定したため、同検討委員会において、管理的業務と委託可能業務の区分に着手し、平成15年度まで詳細検討を重ねてこれを決定した。

実際の委託先決定にあたっては、駅業務の民間委託が公営地下鉄における初の試みであること等から、駅業務の経験を有する事業者とすることを決定したうえで、一般競争入札を行い、平成16年7月から既設箱崎線において、管理的業務を除く業務の一部委託化を実施した。

これは、新たな職員採用を行うことなく七隈線を開業し、効率的な経営を行うため、既設線である箱崎線を事前に委託化し、その減員分を七隈線の管理的業務を担う駅管理職員等に振替えることを目的としたものである。

その後、七隈線については、箱崎線委託化後の運営状況を勘案し、鉄道事業者だけでなく、ほかの旅客運輸業の経験事業者も含めた競争入札を実施し、平成17年２月の開業時から全駅について、一部委託化を行った。

●中洲川端駅の委託化

中洲川端駅は、これまで委託化されていない空港線の天神管区駅の管轄駅という位置づけであったが、組織の効率化推進等の観点から、箱崎線の貝塚管区駅に管轄を変更するとともに、平成21年4月から駅業務の一部委託化を実施した。

●空港線の委託化

団塊の世代の大量退職予定に伴い、これまで委託化されていなかった空港線を一部委託化することにより、より一層の効率化を進めることとし、退職予定者の状況を踏まえながら検討を進め、平成26年度から順次一部委託化を開始した。

現在の委託化の状況としては、平成26年度に大濠公園駅と赤坂駅を、平成27年度においては唐人町駅を一部委託化しており、今後、退職者の状況等も鑑みながら、平成32年度までに、一部の主要駅を除いて、空港線全駅の一部委託化を完了させる予定である。

（参考）路線ごとの委託化状況

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
七隈線		★全駅一部委託化															
箱崎線	★全駅一部委託化					↑											
空港線						★					★一部委託化スタート						★

中洲川端駅を箱崎線の貝塚管区駅に移管し、同駅を委託化

委託化完了予定

2. 取組の具体的内容とねらい、効果

(1)取組の具体的内容とねらい

前述のとおり、福岡市交通局においては、複数回に分けて委託化を検討実施してきたところであるが、そのいずれも、効率的な組織運営による人件費削減と、民間サービス力の活用が主なねらいとして挙げられる。

加えて、平成16年7月の箱崎線駅の一部委託化については、前述のとおり、新たな職員採用を行うことなく七隈線を開業する目的も兼ねているものである。

(2)効果

●正規職員数の削減効果

H16箱崎線駅一部委託化	削減・抑制した正規職員数44名
H17七隈線駅一部委託化	削減・抑制した正規職員数126名
H21中洲川端駅一部委託化	削減・抑制した正規職員数11名
H26空港線赤坂駅・大濠公園駅一部委託化	削減・抑制した正規職員数11名
H27唐人町駅一部委託化	削減・抑制した正規職員数5名
H29以降の空港線駅一部委託化	削減・抑制予定の正規職員数44名

●平成16年7月の箱崎線駅一部委託化の効果

前述のねらいどおり、新路線である七隈線の開業時においても、職員数を増加することなく対応することができた。

3. 他の自治体の参考となる点、今後の課題等

(1)他の自治体の参考となると考えられる点

●管理的業務を担う職員の確保

駅業務の委託先が、市の外郭団体ではなく、純粋な民間企業であることから、駅業務のうち管理的業務については正規の職員で対応することとしており、各管区駅の駅長、副駅長、助役職員は、引き続き正規の職員を充てている。

福岡市においては、できる限り広範囲における委託化を進める一方、管理的業務を担う正規の職員を安定的に確保する観点から、主要3駅は人材を育成する場として、あえて委託せず、直営で運営することとしている。

●マニュアル整備、研修の実施

正規職員と委託職員、又は委託職員において、業者間の知識・技能のレベル差を埋めるため、マニュアルや研修については、管理監督課において力を入れて取り組んでいる。

(2)今後の課題等

委託化により正規職員数の削減を進める一方、大量退職期を迎えて管理的業務に携わる正規職員が逐次退職していくことから、これらの業務に携わる後進の人材育成が課題となる。

〇問合せ先

担当課	福岡市交通局総務課		
TEL	092-732-4105	MAIL	somu.TB@city.fukuoka.lg.jp